



ほっこり通信

No.4 / 2024年春号

NPO法人監獄人権センター家族 & 友人部

〒160-0022 東京都新宿区2-3-16ライオンズマンション御苑前703

桜に込めた思い ♪ ~スタッフ日記より

認知症が進行しているAさん。それまで攻撃的な事もあり避けてきた。でもAさんの夫が肺炎で入院し、Aさんはヘルパーと実娘の通いの世話を受けながらの一人暮らしとなる。毎日「父さんがいなくて寂しい」と言うのを知り電話すると私のことは忘れられていた。話すうち思い出し電話を切る時「ありがとう」と言われる。思い切って会いに行く。「ああ桜が綺麗」と言うが見える景色は枯れ木ばかり。台所で火をつけたのを忘れるからと料理を禁止され、与えられたパックの弁当を「美味しくない」とこぼす。食べたい物を聞くと「あったうどん」と言うので作り一緒に食す。「近い内また来ます」と言う「帰るの?」と泣きそうな顔...それから毎朝、電話して「声が聞けて嬉しい」と言い合う。来年はご主人と一緒に桜が見られるようにと祈りながら。。



(文/写真・Bibi)

音楽が教えてくれたこと

今回紹介する音楽は、Lady Gaga の「Hair」(2011年)という曲です。自分のヘアスタイルをめぐってありのままに生きることを歌っています。自由自在に変えられるヘアスタイルのように、自分の好きなように生きることをこの曲は教えてくれます。自由に生きることはなかなか難しい世の中で、自分自身のことを好きになること、本当の自分を知ってもらうことで本当の自分を見つけていくことが生きていくことなんだと伝わってきます。この曲は私がティーンエイジャーの時によく聴いていました。最近ふとお店で流れているのを聞いて、どこか前向きな気持ちになれた気がしました。受け入れられること、受け入れられないことがたくさんある場所で、揺るぎない自分を持つことの大切さを教えてくれた一曲です。皆さんも、もし機会があったら聞いてみてくださいね。(文・みなみ)



★シュークリーム★



(詩/写真・ひまわり)

形が似ているらしい
キャベツに似ているらしい
フランス語で「シュー」とはキャベツという意味らしい
シューにクリームを入れたのがシュークリームらしい
一人で食べたシュークリーム
給食のメニューのシュークリーム
家族で食べたシュークリーム
そして今、施設で食べているかもしれないシュークリーム
いちごがのってるケーキよりちょっと地味だけど
それをたべるとなんだか嬉しくなる
今度食べる時はどんな気持ちだろうか
きっと幸せな気持ち
そんな気持ちであってほしい

海渡先生のぶらり散歩

絶望から希望へ 式子内親王(しきしないんのう)の和歌を読む

私は、高校生のころから和歌が好きでした。10年くらい前までは万葉集ばかりを読んでおりました。あるとき、式子内親王の歌に触れ、心の内に秘めた激情がほとばしり出るような歌がたくさんあることに驚き、心惹かれました。そして新古今和歌集の全体を読み、その情景の切り取り方のざん新さと研ぎ澄まされた感性に、すっかり魅いられたのです。お気に入りの三首を紹介しますね。

- ① 日に干(ち)たび心は谷に投げ果てて あるにもあらず過ぐる我が身は
まず、この深い絶望と孤独感にたじろぎます。
- ② 秋こそあれ人はたづねぬ松の戸を いくへも閉ぢよ薫(つた)のもみぢ葉(ば)
秋、誰も訪ねてはこない庵の松の戸を、幾重にも美しい薫の紅葉で閉じてほしい。
自らの孤独と正対する覚悟が伝わる歌ですね。



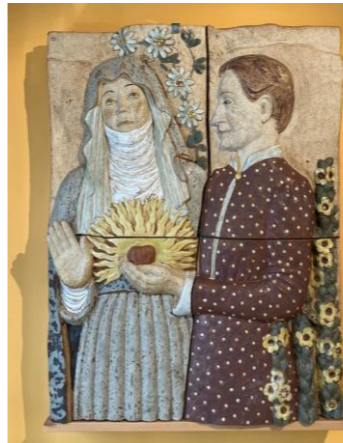
文/写真
CPR代表海渡弁護士

「アニメ進撃の巨人」から読み解く生きづらさ

地下街のゴロつきだったリヴァイの叔父にあたる切り裂きケニーの最期の言葉が感慨深い。「今ならあいつのやったこと、分かった気がする。俺が見てきた奴らみんなそうだった。酒だったり、女だったり、神様だったりもする。一族、王様、夢、子供、力、みんな、何かに酔ってなければやってられなかったんだ。みんな何かの奴隷だった。あいつでさえも私は薬物止めて7年が経つ。それよりは前は薬物が私の全てだった。今は薬物を止める活動に酔っ払っている。いわば活動の奴隷である。それがなくなれば、私はまた別の主人を探さる。薬物を止める活動に酔っ払っているおかげで、今はお酒に酔っ払うこともなくなった。(文・クマ)

映画紹介

「英国王のスピーチ」2010年 118分



2022年に亡くなったエリザベス女王のお父さん、ジョージ6世の実話が元になっている映画。人前に出るのが苦手だし、緊張するとどもってしまう国王ジョージ6世は、スピーチの場で何度となく失敗を繰り返します。ユニークな治療方法と励ましでどもりをなんとか克服しようと頑張っている中、ドイツとの戦争が始まって国中に不安が広がっていきました。国民の気持ちを一つにするために大切なスピーチをしなくてはいけなくなり...コンプレックスの克服とか、寄り添う先生との友情とか、イギリスの歴史、とか、色々な見方ができるけれど、私は、誰かがものすごく不安になったり、何かに押しつぶされそうでどうしていいかわからなくなっている時に、「大丈夫だよ」の気持ちを込めて、ことばの代わりにこの映画を薦めたいです。(文/写真・ちょーころむ)

ブックレビュー

「これからお祈りにいきます」 津村記久子著 角川文庫 704円

「サイガサマのウィッカーマン」と「バイアブランカの地層と少女」を収録。主人公が若い男性の二作は圧倒的リアリティーで読んだ途端に彼らの世界に入り込める。解説によると芥川賞作家の卓越した手腕により主人公のものの見方が鮮やかに、しかも自然に表現されていると。後者の作品の大学生は気が小さく常に不安に脅かされ京都から出ないでいるが、怯えている状態を好んではない。偶然知り合ったアルゼンチンに住む少女とメールでやり取りする中で、彼女の不安や恐怖を共有していき「あなたが不安と共存しながら幸せに過ごせることを願っています」とメッセージを受け取ると...お祈りがモチーフのユーモア小説
※ウィッカーマン: 巨大な人型人形を使った供養 (文/写真・朝顔丸)



皆さんからの応募作

獄舎窓
外の景色に
冬の風
(K.Sさん)

初雪を
眺めては書く
便りかな
(H.Sさん)



タイの市場にて

春雨や
軒に丸まる
猫一匹
(俳句・写真お餅)

俳句心の一句

ご応募ありがとうございます♡ 引き続き募集中です!!